

# ひたかみ園～女川～名取支援学校訪問記

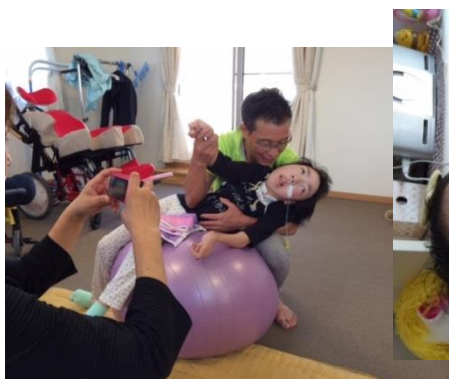
今年も9月28日～30日の3日間、いつものFBM研究会メンバー3人(安田知子、白井愛子、大島)で、4回目の仙台訪問へ行ってきました。

初日は社会福祉法人石巻祥心会「第二ひたかみ園」(石巻支援学校の卒業生、伊勢知那子さん達が通所されている施設)からスタート。急な訪問依頼にも関わらず快く受けくださり、5人の利用者とスタッフが参加していただきました。知那子さんのお母さんがつないでくださったおかげです。感謝!

FBMの体験が初めての方もおられましたが、とてもリラックスして、いい表情や動きを見せてくれて嬉しかったです。法人スタッフの方も関心を示して積極的に学んでくださり、少しですが、FBMの種まきができて良かったです。

\*大島が震災一か月後の炊き出しに行かせてもらったのが「ひたかみ園」でした。不思議のご縁です!

とびきりの笑顔にありがとう!



<伊勢知那子さんの様子>

午後から、2年ぶりに女川を訪ねてきました。

女川港～庁舎の変貌ぶりに驚愕!女川湾には、高い防潮堤の造成が完成。これまでは線路が錆びついて走れなかった石巻線も開通。終点の女川駅は、鉄骨3階建て素晴らしいデザインの駅舎と町営の温泉施設「女川温泉ゆぼっぼ」が完成していました。駅周辺には、集合型商業エリア、地域交流センター、物流センターが完成をめざして工事の真っ最中。その変わり様はすごくて、復興してきている景色が飛び込んできました。ただ、廃墟になっていた女川原子力センター(ネット情報からも消された?)が跡形もなくなり、山積みになっていた廃材も撤去されていて、大震災の記憶が薄れてくゆく不安も感じました。

駅舎隣の女川フューチャーセンターも訪問してきました。中村雅俊さんが寄贈されたトレーラー車が移設改装され、地域の交流、イベント施設ができていました。その日は、女川中学校の卒業生が、いのちの石碑プロジェクトの集まりをしていました。震災を体験した子どもたちが、自分たちの手で100年後の命を守るために、①絆のある町づくり ②高台へ避難できる町づくり ③震災の記録を残すという3つのテーマを掲げて、前向きに取り組んでいました。その想いと行動に大きな感動と期待を抱くことができました。その「いのちの石碑」を作る女川の子どもたちを支える会の会長をされているのが、ちゃっこい絵本館～つながる図書館をずっと支えて来られた山下由希子さんとは・・・驚きと感謝!

訪問の度につながりが深まり、広がって行く・・・不思議のご縁を感じさせてもらっています。

↓ (2013年10月) 女川訪問

⇒ ↓ (2015年9月) 2年後の女川駅周辺



山積みされた廃材の撤去作業

⇒



新設された女川駅+温泉ゆぼっぼ



女川フューチャーセンター



廃墟になっていた  
女川原子力センター

⇒



いのちの石碑



千年後の命を守るために

夜は仙台市内のホテル泊。片岡明恵先生（元石巻支援の先生）が忙しい中会いに来てくださり、美味しい地酒を味わいながら遅くまで楽しく笑い、語り合いました。石巻～名取と FBM 研究会をつないでくれたのは彼女。これからもよろしく頼みますね！

2日目、3日目と名取支援学校訪問。初日は避難訓練が重なっていて短い時間になりましたが、小学部から高等部の子どもたちに、マンツーマンで FBM の体験をしてもらいました。一緒に楽しみながら、子ども達がリラックスしてくれて、姿勢や動きつくりのきっかけになれたようでとても嬉しかったです。

また、先生方にボールの扱い方や利用者さんとのかかわり方、姿勢の作り方等を学んでいただける機会にもなれて良かったです。今回もいろいろな計画と調整、案内をしてくださった松平先生、成澤先生はじめ、名取支援学校の皆様、本当にありがとうございました。

今回も FBM 研究会から、第二ひたかみ園と名取支援学校に、エンジェルクリアファイルや小林則子さんからの寄贈本の協力金から、ボディボールとラブリーボール（各3万円分）を贈りました。これからもわずかずつでも続けて行きたいです。

\* 「いのちの石碑プロジェクト」を少しでも応援したいです。

「いのちの石碑プロジェクト応援有志連」を創ることも検討しています。

2015年10月吉日

文責 大島昇